

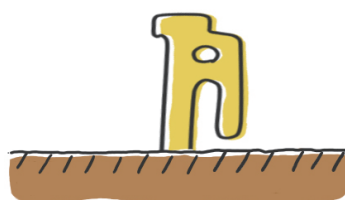


ちょっと

知っておきたい ペグとロープの **まめ** 知識

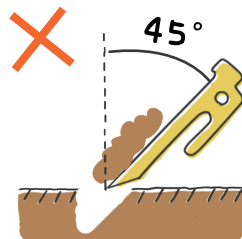
～地面が軟らかいときの打ち方のコツ～

④ プラスチックペグ（黄色のペグ）

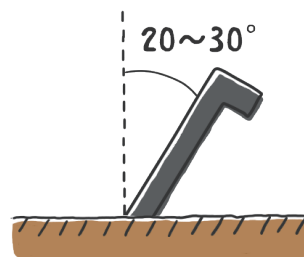


一般的なペグは斜めに打ちますが、当社でいろいろ試して検証した結果、地面が軟らかい場合、まっすぐに深く打ち込む方が外れにくいです。

※45°で打ち込むと、ペグが地面ごととはがれることがあります。（特に地面が軟らかい場合、はがれやすい）



④ ピンペグ（スチール製）

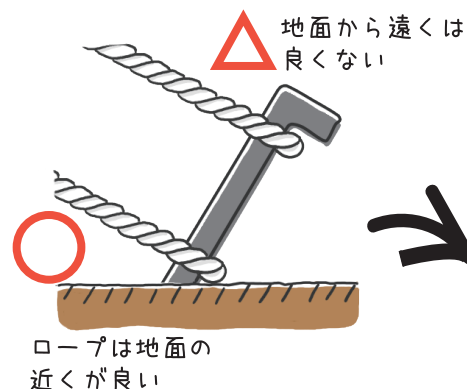


ペグの角度を垂直から20～30°で打つと、強度が増します。まっすぐ立てすぎると抜けやすくなります。

ペグをより抜けにくくする方法としてペグを2本、クロスして打つという方法があります。

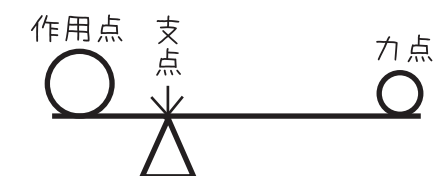


④ ロープの位置

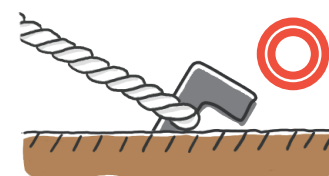


ペグにくくられたロープが地面から遠くにあるほど、風を受けた時にペグが抜けやすくなります。

てこの原理

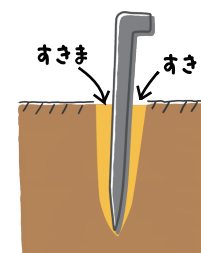
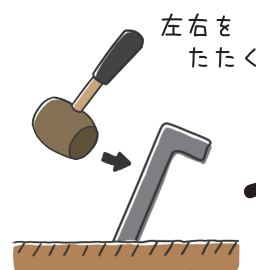


支点から力点までの距離が長いほど、小さな力で大きな作用力を生み出す



地面が軟らかい時は、ペグをしっかりと打ち込んだ方が抜けにくい。撤収の時に、ペグを打ち込んだ角度で逆方向に引っ張ると抜けやすいです。

④ ペグの抜き方



ペグが抜けにくい時にはハンマーでペグの左右を軽くたたくと、ペグと地面の間に隙間ができて抜けやすくなります。